ひとと自然の共生
きらめく田園と交流のまち
ながぬま

第６期長沼町総合振興計画を策定しました

３月８日に開会された令和３年第１回町議会定例会において、「第６期長沼町総合振興計画」が議決され、今後８年間のまちづくりの方針を策定したところです。

「第６期長沼町総合振興計画」は、令和元年度から策定作業に取り組んできました。18名の委員による３部会（産業、福祉、教育）から成る長沼町総合振興計画審議会を設置し、町民の皆さんへのアンケート調査結果などを踏まえて慎重に審議を重ね決定しました。

◎ 構成

「第６期長沼町総合振興計画」は、今後８年間のまちづくりの将来像を示す「**基本構想**」と、基本構想に掲げる将来像を達成するための「**基本計画**」で構成されています。

「**基本構想**」は、令和３年度を初年度とし、令和10年度を目標とする８年間の方針であり、「**基本計画**」は、移り替わる社会情勢に弾力的に対応し、施策の実効性をより確実なものとすることを目的として、前期、後期（各４年間）に区分し策定します。

長沼町総合振興計画審議会 答申

令和３年２月18日、「第６期長沼町総合振興計画」が長沼町総合振興計画審議会　瀬川明廣会長から齋藤町長に答申されました。

この計画は令和２年６月に審議会に諮問を行い、18名の委員により審議されたのち、答申を行ったものです。

第６期長沼町総合振興計画で掲げる

まちづくりのテーマと７つの基本施策

◎ まちづくりのテーマ

ひとと自然の共生　きらめく田園と交流のまち　ながぬま

◎ ７つの基本施策とその目標

■１．安全・安心で快適に暮らせるまち

快適な生活環境で防犯・防災対策が充実した、安全で安心して快適に暮らせるまちづくり

■２．ひとと自然が共生する美しいまち

ひとと自然が共生し、美しい景観をつくる・保つまちづくり

■３．ひとにやさしく健康に暮らせるまち

住み慣れた町で、誰もが安心し、いきいき暮らせるまちづくり

■４．地域産業で活力を生み出すまち

農商工の連携を進めるとともに、活力ある産業をはぐくむまちづくり

■５．多様なひとと文化を育むまち

子どもの社会性・人間性を育てるとともに、誰もが心豊かで生きがいをもてるまちづくり

■６．健全な行財政運営で活気あふれるまち

行財政基盤の安定した、町民と行政の協働で築く、魅力あるまちづくり

■７．ひとが集まり持続可能なまち

多様なひとが集い、まちの課題をともに考える、未来へ繋ぐ持続可能なまちづくり

◎ 計画の主旨

四季折々の風情を見せるふるさとの山、馬追丘陵や、豊かに耕された田園の輝きとともに、誰もが安全に暮らせるまちづくりを目指し、本町はこれまで「ひと･緑がかがやく　田園と交流のまち」を標榜し、新しい時代に向けた町の基盤づくりを進めてきました。

緑の充実や基幹産業である農業の振興は、引続き本町のまちづくりの普遍的なテーマと考えられます。

これまでの取組みをより一層充実させるとともに、ひとと自然が共生できる持続可能なまちづくりを目指し、向こう８年間のまちづくりのテーマ（目指す姿）を『ひとと自然の共生　きらめく田園と交流のまち　ながぬま』と定めました。目指す姿を実現するために、７つの基本施策を軸とする施策の大綱を定め、具体的な施策を体系的・総合的に推進していきます。

『ひとと自然の共生　きらめく田園と交流のまち　ながぬま』の実現に向け、町民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、総合振興計画の全文については、町ホームページでご覧いただけます。

【問合先】役場企画政策係（☎ 76-8015）